



久我 隆弘 (KUGA Takahiro)

東京大学大学院総合文化研究科 教授

東京大学理学部物理学卒業、
同大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。
理学博士。

米国 AT&T Bell Laboratories 客員科学者、東京大学物性研究所極限レーザー・助手(松岡正浩研究室)、東京大学教養学部物理学教室・助教授、大学院重点化により東京大学大学院総合文化研究科・助教授を経て、2001 年より現職。

研究分野は量子エレクトロニクス・量子光学。特に、光そのものの本質に迫る研究や光と原子との相互作用(電磁相互作用)の基本を解き明かす研究を手がけている。それなりの予算と人手を投入して、日本で初めて気体原子のボース・アインシュタイン(BE)凝縮を 1998 年に実現させたが、研究自体が大掛かりになりすぎたため、2011 年に実験装置を他大学に譲渡して BE 凝縮の研究からは撤退した。最近は、一人で行うことのできるこぢんまりとした研究を進めている。たとえば、より簡便な単一光子源開発や波動光学による量子状態の時間発展の可視化などである。また、大学の 1、2 年生向けの基礎物理学実験にも深く関与しており、新しい学生実験種目の開発なども行っている。

著書には、『レーザー冷却とボーズ凝縮』(岩波書店)、『量子光学』(朝倉書店)、『"測る"を究めろ！ー物理学実験攻略法』(丸善出版)、他に国内外での学術論文がある。